



錦林小学校

NEWS LETTER

令和7年度2月
(アンケート結果)

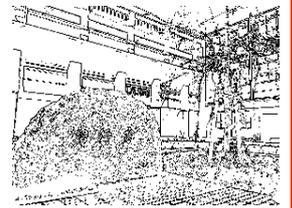
京都市立錦林小学校

606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1

TEL : 075-771-0921

FAX : 075-771-3622

E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp



こどものためのアンケート（2回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」（12月実施）にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、いただいたご意見、教職員の振り返りをふまえ、継続する取組や改善していくべきところを全教職員で共有し、保護者・地域の皆様と共に今後の錦林小学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

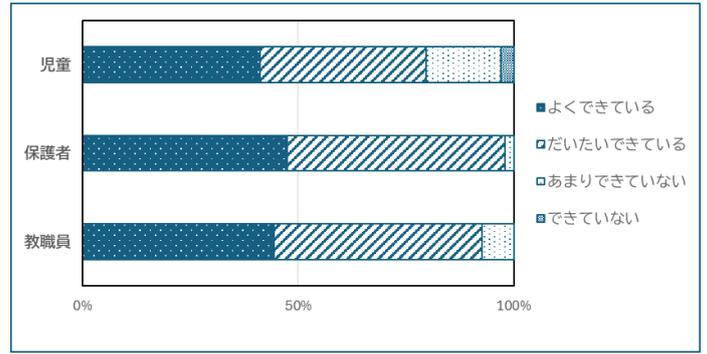
それぞれの質問の項目について、児童・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことならについて、3者（児童・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためです。

「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答されている割合を「%」で表しています。（ ）内は前回比です。

質問項目	児童	保護者	教職員
子ども一人一人を大切にされた教育を進めている	96(-1)	97(-1)	100(±0)
授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）	96(±0)	97(+5)	100(±0)
地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである（地域の特色を生かした学びを進めている）	80(+4)	98(-1)	92(+6)
意欲的に学習に取り組んでいる	96(-1)	85(±0)	100(±0)
進んで本を読んでいる	73(-4)	57(-4)	93(-4)
宿題などの家庭学習に取り組んでいる	93(+1)	90(±0)	100(±0)
分からないこと、困ったことなどを相談しやすい	82(+1)	89(±0)	100(+3)
楽しく登校できている	94(+1)	95(±0)	100(±0)
進んであいさつできている	89(±0)	80(+3)	89(-11)
人を大切にしている	97(±0)	96(±0)	100(±0)
自分のよいところやがんばっていることが言える（よさやがんばりを認め褒めている）	78(+3)	94(+6)	100(±0)
生活のルールを守っている	94(-1)	87(±0)	100(±0)
時間を守って生活できている	91(+2)	80(±0)	97(-3)
「すべきこと」「してはいけないこと」についてしっかり考え、適切に判断できている	93(-3)	92(+3)	100(+3)
がんばることを見つけて努力・挑戦している （「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している）	94(+2)	68(+2)	100(+3)

地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである

2年生では校区探検を行い、元新洞小学校を訪れて体育館や運動場を見学し、身近な地域の歴史に触れました。3年生では地域の消防団や

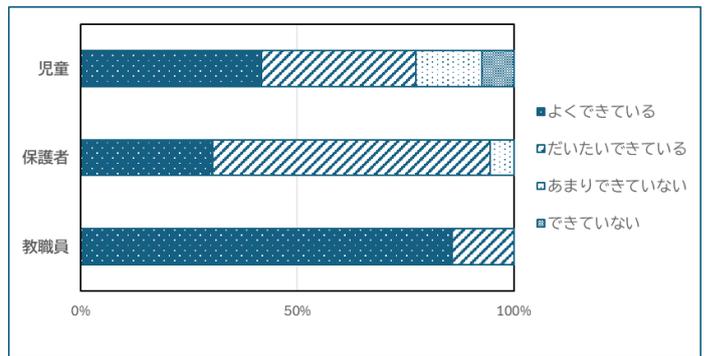


消防署の協力を得て実際の道具を見せてもらうなど、地域で働く人々の思いを体感的に学びました。6年生では平安神宮で写生会を行い、文化財に囲まれた環境の中で、地域の伝統や芸術に向き合う機会となりました。

錦林地域は、文化や歴史が豊かに息づく学びの宝庫です。その恵まれた環境の中で、子どもたちは「地域を知る」ことを通して、主体的に学ぶ姿を見せています。また、地域の方々との交流や体験は、教室だけでは得られない気づきや成長を生み出しています。ご家庭でも、ぜひお子さんとともに地域のさまざまな場所に足を運び、地域の魅力に触れる時間を持っていただければ、学びがさらに豊かに広がっていくことと思います。

自分のよいところやがんばっていることが言える

子どもたちが自分のよいところやがんばっていることを素直に言葉にできるよう、日々の教育活動を大切にしています。1月には2回目の人権朝会を行い、自分のよさを見つけたり、友達から教えてもらったりする活動を通して、互いの存在を認め合う温かい時間となりました。また、たてわり活動など異学年交流の場では、年齢の異なる



友達同士がよいところを伝え合い、多様な価値観に触れながら自己理解と他者理解を深めています。こうした取組の背景には、子どもたちが安心して思いを表現できる環境づくりがあります。大人が温かく見守り、丁寧に言葉を返すことで、子どもたちは自分の内面に向き合い、自分のよさを自然と認められるようになっていきます。この自己肯定感の高まりは、学習や生活の意欲、そして他者への思いやりにもつながります。今後も学校・家庭・地域が連携し、子どもたち一人一人が自信をもって成長していけるよう支えていきたいと考えています。

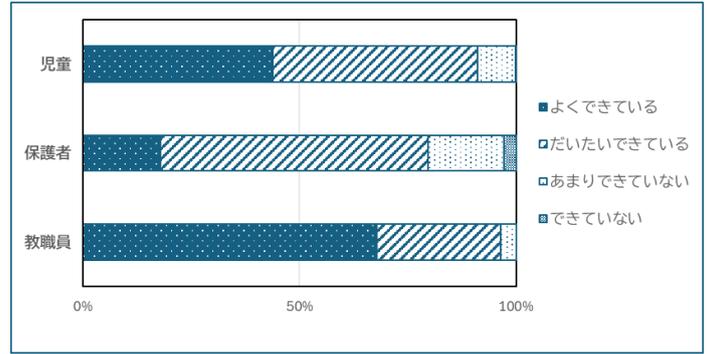


時間を守って生活できている

子どもたちが時間を意識して生活することを大切にしています。日々の学校生活では、授業の始まりまでに学習の準備を整えられるよう、教師が丁寧に声かけを続けています。その積み重ねにより、子どもたちは自然と次の行動を見通し、切り替える力を身につけています。

特に高学年では、自分で休み時間の使い方を工夫し、次の授業に備えて主体的に行動する姿が多く見られるようになりました。こうしたよい習慣は、下級生にもよい影響を与えています。高学年の姿を見て、低学年の子どもたちも時間を守って行動しようとする意識が芽生え、学校全体に落ち着いた雰囲気が広がっています。

時間を意識する力は、学習面だけでなく、社会生活においても大切な基盤となる力です。今後も学校全体で温かく見守りながら、子どもたち一人一人が自分で時間を管理し、よりよい生活習慣を身につけていけるよう支えていきたいと考えています。



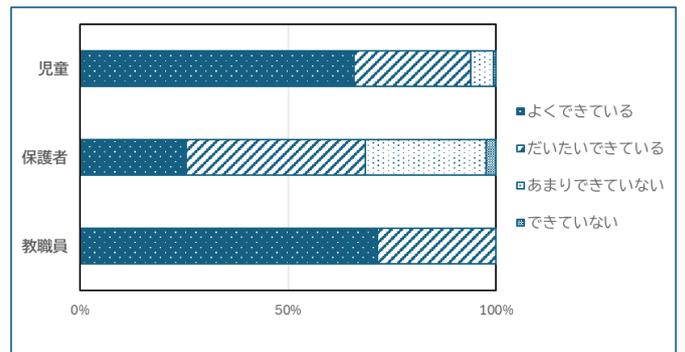
がんばることを見つけて努力・挑戦している

自分なりの目標を大切にしながら、その実現に向けて努力したり、新しいことに挑戦したりする姿が見られるようになってきました。「こんなふうになりたい」「これができるようになりたい」と、日々の学習や生活の中で“なりたい自分”を思い描き、前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。

努力を続けることは決して簡単ではありませんが、周囲からの温かい声かけや励ましが、子どもたちの意欲を支える大きな力になっています。また、新たなことへ挑戦するには勇気が必要ですが、その一歩を踏み出す力も着実に育ってきています。

家庭でも、子どもたちの小さな変化や頑張りの瞬間を大切に、気づいたことを言葉にして丁寧に伝えていただいていることで、子どもたちが「見てもらえている」「応援してもらえている」という安心感をもっていることがわかりました。

このような努力や挑戦の積み重ねは、成功体験だけでなく、自己肯定感や粘り強さの育ちにもつながります。今後も、子どもたちが自分の可能性に気づき、意欲的に挑戦していけるよう、学校全体でも温かく見守り、支えていきたいと考えています。



【アンケートまとめ】

学校アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

回答結果を集計したところ、保護者の「子どもたちのよさやがんばりを認め褒めている」という項目が、ここ数年の中で最も高い割合となりました。日頃から、子どもたちの成長を温かく見守り、その努力や変化を丁寧に受け止め、励ましてくださっている家庭の姿勢に、学校として深く感謝申し上げます。家庭での前向きな声かけは、子どもたちの自己肯定感を育み、学習や生活への意欲にも大きくつながっています。学校と家庭が同じ方向を向きながら子どもたちを支えていけることを、大変心強く感じております。引き続き、学校でも子どもたち一人ひとりのよさに目を向け、認め合う温かな教育活動を進めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

【保護者（ご意見・ご感想の記入欄）より】

○「朝、門の閉まる時刻が早いので、もう少し遅くしてほしい」

本校では、登校の時間帯を8時～8時半としています。その後、安全確保のために一定の時刻で門を閉める対応を続けています。ご理解いただけますと幸いです。なお、やむを得ず遅れる場合には、アプリを通して「何時頃に到着予定か」をお知らせいただくと、担任も安心してお子さんを迎える準備ができます。事前にご連絡をいただければ、子どもたちが気おくれすることなくスムーズに校舎へ入れるよう、教職員も対応いたします。安全を守りながら、子どもたちが安心して登校できる環境づくりに引き続き努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いたします。

○「学級閉鎖となる基準や判断について教えてほしい」「学校内での感染症の流行状況を教えてほしい」

今年度は、全国的にインフルエンザの流行が早く始まり、本校でも学級閉鎖が生じる状況となったことをご心配をおかけしたことと思います。学級閉鎖となる判断の基準は、たとえば「何人以上欠席者がいる」といった一律的なものではありません。欠席児童の数や状況をはじめ、登校している児童の健康状態なども踏まえて総合的に判断しています。また、当日だけでなく、過去数日間の当該学級の状況も参考にして、感染が拡大しつつあるのか、終息に向かっているか等も判断の材料としています。そして、最終的には学校医と相談した上で閉鎖するかどうかを判断しています。

閉鎖が長く続いたり、たびたび生じたりしますと、保護者の方にもご心配をおかけすることになります。児童の健康と安全を守るための措置であることをご理解いただきますよう、よろしくお願いたします。なお、校内で感染症が拡大することが予想される場合は、すぐ一斉休校などで注意喚起をさせていただいております。週明けに一気に感染が拡大することもあるため、予測は難しいのですが、可能な範囲で今後も情報を発信するよう努めます。

○「学校の電話対応時間が短縮され、相談できる機会が減ってしまった」

ご不便をおかけし申し訳なく思っております。電話での対応が難しい場合でも、学校にお越しただいて直接お話をうかがう時間を設けることができますので、どうぞ遠慮なくお申し出ください。子どもたちのことについて、保護者の皆さまと共有し合うことはとても大切だと考えております。限られた時間の中ではありますが、できる限りご相談いただきやすい環境を整えてまいります。